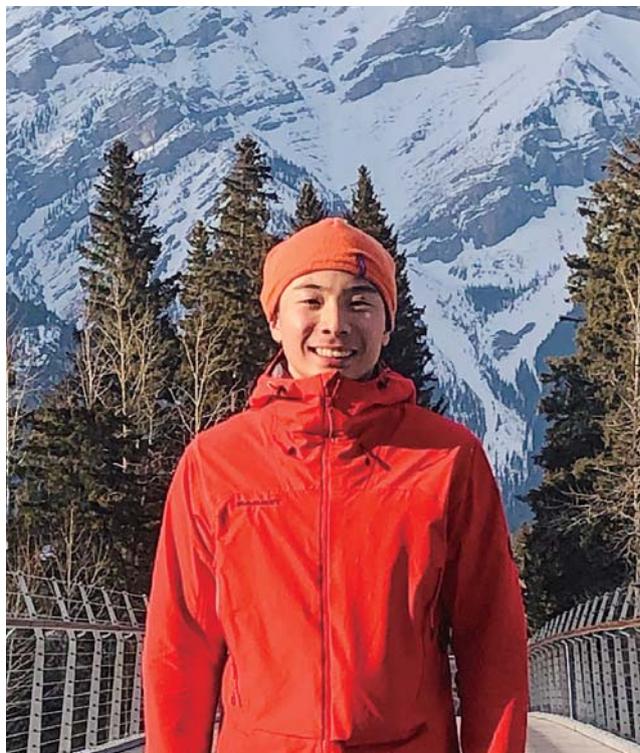


ときめき人

Tokimeki bito



カナダ留学で 環境保全の活動調査 山の世界にITを

豊里町・横町出身

芳賀 燦人さん

はがさんと
1997年生まれ 血液型/A型

Profile

大学卒業後、IT系企業に勤務(東京在住)
石巻高校、法政大学
文学部地理学科卒
趣味は、登山、バック
カントリースキー、
筋トレ、YouTube
制作、株式投資



留学中は四季を問わず毎日のように山へ通った。世界一美しいと称されるモレーン湖調査の様子。

芳賀さん配信のYouTubeに興味をもたれた方は、上記のQRコードから視聴できますので、ご覧ください。



「大学時代に日本百名山の全頂(100座)を登り、現在はYouTube配信などで環境保全活動に力を入れている」と、話す芳賀さん。

大学生時代は、北アルプスの山小屋や東京のIT企業でアルバイトを経験。海外の山は「入山料」というお金を払う制度が多いのに対し、日本では富士山以外の入山料制度が普及しておらず、トイレの問題や登山道の荒廃など、経費不足を理由にする問題が多いこと、また山の通信網が整備されていないことから山小屋や国立公園の経営問題があることに関心を持つようになる。

次第に、海外の事例を調査したいと考えるようになり、大学在学中に、文部科学省主導の奨学金プログラム「トビタテ! 留学JAPAN」(第10期生

/2019年)という留学制度に応募し採択された。留学先は、世界有数の観光地で、環境保護に力を入れるカナダのバンフ国立公園。

「1年間滞在し、多様な人脈を築けた。美しい絶景を眺められたことはうれしかったが、英語でのコミュニケーションには苦労した」と、話す。

留学経験を元に、山の世界にはインターネットを用いられる人材が少ないことを強く感じ、IT系企業に就職。個人配信しているYouTubeで、山の魅力や自然の大切さを広く伝え、「将来はエベレスト登頂を目指す」と願望実現に向け挑み続ける。

「自然や周りの家族、友達などと過ごせる当たり前のことこそ何よりも幸せな状況。故郷の美味しい米が活力となり、感謝の思いで食している」。

編集後記

▼全国で活躍した学生たちを取材。学生のとき、レギュラーになれず部活動を引退した私にとって、真つすぐ目の前のことに打ち込む学生らの姿は、憧れと尊敬からとてもまぶしく映ります。競技を退く人、今後も続けていく人と、それぞれの道を歩み始めた彼らの姿を応援しています。(三浦)

▼猛暑が続いていたかと思えば、秋雨の季節になりました。気温差が大きく、晴れと雨を繰り返すような日々の訪れに体の調子も崩しがちに。上着を脱いだり羽織ったりとはつきりしない天気が続きます。体調管理に気を付けたいと思います。(佐々木)

▼取材をしていて感じることは、ことわざ「百尺竿頭一歩を進む」に通じる皆さんという事です。心の余裕があり、称賛されてもおこらず、感謝の念で周囲を巻き込む志の高さは、感情・思考・行動のバランス調整技術の賜物。人が育つ環境とプロセスが成長の糧と教わります。(高橋)



登米市公式ホームページ

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴うイベント中止などの情報は公式ホームページでお知らせしています。)<https://www.city.tomei.yagi.jp/>



登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)
<https://mail.cous.jp/tomeicity/>